

鳴門ウチノ海総合公園ひなまつり

2月16日～3月17日まで、「鳴門ウチノ海総合公園ひなまつり」が開かれました。NPO法人ボランティア鳴門西が、使われなくなった人形を引きとり、ひな壇を設置して展示しています。3月3日はぜんざいの接待があり、大勢の来場者でにぎわっていました。

災害と私たちの活動を考えて

NPO法人 mini れすぱいと
理事長 山本 とし子

法人名の「れすぱいと」は休息という意味です。知的障がい児（者）が休日一人をうまく過ごすことは、難しいことなのです。又、それによって親の負担も大きいものがあります。発起の源は、休日親も一息つけ、本人自身が楽しかったと思える時間を持つことができればという思いからでした。

鳴門市心身障害児（者）在宅介護等支援事業の実施を受け、活動を始めたのが11年前です。法人化し、お陰様で、九年目を迎えることができました。

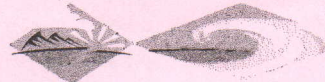
さて、4月13日早朝の地震。鳴門市では、深刻な被害はなかったようで、まずは一安心です。ただ、3・11以来、私たちの活動と照らし合わせて、考えておかなければいけない事が多くできました。

トレーナーと呼ばれる、主に大学生とカラオケやボーリングに出かけている時に被災した場合、トレーナーさんが少しでも困らない様に、負担が少ない様にするには、どうしたらよいのだろうか。最悪、避難所で一夜を過ごしてもらわなければいけません。

- ◎保護者との連絡の取り方
 - ◎避難場所の確認
 - ◎予想外の状況下パニックになった時、いかに平静を取り戻してもらうか
 - ◎昼間の生活とは違った夜の過ごし方を知ってもらうべきか
- 多くの項目が、取りあげられました。

そこで、活動当初から内容に変更のなかったサポートファイル（利用者の事を、初対面のトレーナーさんに理解してもらいやすいように情報を記した物）を刷新する作業を行いました。トレーナーさんと逸れてしまっても、本人が口頭で伝えられない対処の仕方をなるべく詳細に記すようにしました。

しかし、先日の朝、自分自身落ち着いていたか？という、自信はありません。3・11のような大きな災害を想定し、トレーナーさんも利用者も安心できる備えを、もう一度考えなおさなくてはと、身の引き締まる思いのした朝でした。





私ども瀬戸町は、小鳴門海峡に囲まれ海の幸に恵まれた漁協の町としても親しまれております。そして、又新興住宅地もあり、山あり、海ありの地域であります。

瀬戸地区自治振興会の組織は「明神・堂浦・北泊・島田・小海日出」の5地域での活動となります。5地域、各地区が昔からの文化伝統がありますので各地区の伝統も大切にしながら、自治振興会は地域の活性化に努めております。

平成24年6月24日、災害用移動式炊飯器の贈呈に伴い婦人会の炊き出しと第一回瀬戸地区コミュニティのつどいを地域あげて瀬戸公民館で行いました。プログラムについては「なごみ合奏団」による生演奏、各婦人会によるコーラス・フラダンス・おどり等々、そして自治会によるお楽しみ抽選会などを行いました。(約200名の参加者がありました)参加者から継続の要望があり、今年度も又計画をしております。

平成24年10月28日、島田地区の「第三回みんなと島民運動会」を行いました。「島田地区島民主体・鳴門高校・瀬戸地区自治振興会」参加者約180名で楽しい運動会を行いました。

(田尻が浜、海岸の清掃ボランティアについて)

島田地区は長年にわたり海岸の浮遊物の多量のゴミに悩まされております。「ところがこんな良い話がありました」ある日のことです。鳴高生が田尻が浜の海を目にした時、海岸にうちあげられた多量の浮遊物のゴミに唖然としたそうです。その生徒は浮遊物の清掃活動をグループの仲間呼びかけたそうです。そして鳴門高校の生徒は、後輩達に引き継ぎながら長年に渡り島田地区の宮本会長はじめ島民の皆さんと共に海岸の浮遊物の清掃活動をされております。そしてボランティアを通じて鳴高生は、島田地区の島民運動会にも参加をしております。

(瀬戸地区自主防災会について)

明神地区自主防災会・島田地区自主防災会・瀬戸北地区自主防災会、瀬戸地区で現在三つの自主防災会を立ち上げております。

平成25年2月24日、明神地区自主防災会主催第2回明神総合防災訓練を地元大元神社で大規模災害による津波を想定した避難訓練を行いました。①初期消火②AED心肺蘇生法③ロープワーク④炊き出し、以上の訓練を行いました。(参加者250名)訓練に参加することで防災意識が変わった。婦人会の皆さんが作ってくれた炊き出しが良かった。近所でも普段会わなかったご近所さんと久しぶりに顔を見ることができて良かった。次回も防災訓練に参加をしようと思う。等々の参加者の声がありました。

何事においても継続の必要性を感じると共に全ての活動においても人の集まる場所には、笑い声があったように感じとられましたので、コミュニティの輪を益々拡大すると共に地域の活性化を目指し、充実した活動をしていきたいと思っております。



コミュニティのつどいに参加された皆さん

助成金情報

平成25年度ニッセイ財団 高齢社会助成 地域福祉チャレンジ活動助成

◇助成内容

活動実績と新規活動または活動実績と当該活動の発展・拡充

活動とは「高齢社会助成対象分野・テーマ」に該当する活動

分野番号1 いつまでも地域で高齢者が安心した生活が送れるまちづくりの推進

分野番号2 高齢者の生きがい自己実現・就業支援

分野番号3 「認知症の人が地域で安心した生活ができるまちづくり

◇助成対象

地域において活動実績のある社会福祉法人 NPO法人等の法人格のある団体

◇助成期間 平成25年10月から2年

◇助成金 最大400万円

(1年最大200万円)

◇締切日 平成25年5月31日

(当日消印有効)

◇問合せ先 日本生命財団 高齢社会助成事務局

☎06-6204-4013

アルミ缶リサイクル協会より
アルミ缶回収優秀団体表彰

リサイクル山田 代表 佐藤 由紀



受賞されたリサイクル山田の皆さん

私たちの会は、資源を大切にをモットーに地域のサポーターとして設立しました。

地域のゴミの分別が悪くてブラックリストに上がっていました。最初はゴミの分別の勉強会、環境政策課の方々に協力をいただき、皆さんに理解していただく為に、色々な品を持ち込んでくり返し勉強会をしました。おかげ様で、今ではモデル地区に指定されるまでに、ステーションも2棟に増し、20品目の分別がスムーズに取り組んでいます。

- ・雑紙→トイレットペーパー
- ・生ゴミ→エコ農園→料理教室(月1回)
- ・アルミ缶→車イス(現在14台贈呈)
- ・エコキャップ→ワクチン
- ・活性液→町内浄化・配布

一つ一つ市の環境政策課の指導の下進めて15年になります。

平成24年度は県の社会福祉協議会より『名誉会長賞』をいただき、先日、3月25日に東京赤坂にある「アルミ缶リサイクル協会」の事務局長大嶋さん、高知の大前田商店の前田社長さんがおいでくださり、「アルミ缶回収優秀団体」の表彰を受けることが出来ました。本当に会員の毎日の取り組み、その他色々の方々の協力のおかげです。取り組みの何一つもやめる事なく活動できていることに感謝です。ありがとうございます。

最後にアルミ缶について、アルミは日本にはない資源です。皆さんは、アルミ缶1缶のエネルギーでテレビが2~3時間見ることが出来るのを知っていますか?アルミ缶は100%アルミ缶になります。原石(ボーキサイト)からアルミを作るのに100%のエネルギーがいるのに対して、缶→缶を作ると3%のエネルギーですみます。60缶で1kgのアルミののべ棒が出来ます。現在回収率は92.5%です。皆で100%の回収をめざしませんか!

行事のお知らせ

なるとの第九
第32回ベートーヴェン

「第九」交響曲演奏会

- 【日時】平成25年6月2日(日)
13:30~
- 【場所】鳴門市文化会館ホール
- 【内容】交響曲第9番二短調 Op.125
指揮/ジェフリー・バーンスタイン
管弦楽/徳島交響楽団
独唱/ソプラノ:熊坂 真里
メソソプラノ:安永 紀子
テノール:渡邊 公威
バリトン:新見 準平
合唱指揮/頃安 利秀
合唱/NPO法人鳴門「第九」を歌う会
全日本「第九を歌う会」連合会
- 【入場料】一般2,500円 小中高生500円
- 【問合せ先】
NPO法人鳴門「第九」を歌う会事務局
☎088-686-9999

We Love なるとまちづくり活動応援補助金

市民の皆さん自らが企画実施する
まちづくり活動を応援します

◇対象団体

- ①市内に在住又は在勤若しくは在学する者を5人以上含む団体
- ②市内に事務所を有し、市内で主たる活動を行う団体
- ③運営に関する会則があり、適正な会計処理を行う団体
- ④役員構成が明らかで、市長又は市職員若しくは市議会議員が代表者でない団体

◇対象事業

- ①対象団体が自ら企画実施する事業
- ②市内で行われる事業で平成26年3月31日までに完了する事業
- ③公益的、社会貢献的な活動であって、地域課題や社会的な課題の解決につながる事業

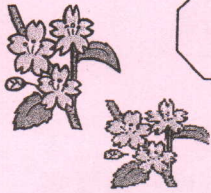
◇応募部門

新たな一歩支援 設立後2年を経過していない団体。これから設立しようとする団体
◆補助金 対象経費の3/4又は20万円のいずれか低い額以内

ステップアップ支援 設立経過年数にかかわらず、活動を発展させる団体や新たな取り組みを展開しようとする団体
(設立2年未満の団体も可能)

◆補助金 対象経費の2/3又は30万円のいずれか低い額以内

- ◇締切り日 平成25年5月31日(当日消印有効)
- ◇問合せ先 市民環境部市民協働推進課
☎088-684-1189



新池川にかかわって

新池川をきれいにする会
会長 乾 肇

徳島県下で一番汚れている川との話を聞いたのがきっかけです。県、市も汚いと思っても、なにをしてとの声もありません。自分たちの身近な川が一番汚いなら自分たちで出来ることはないか、それならとEMを作っている団体の中から「EMダンゴを新池川に入れてみないか」との話になり、『新池川をきれいにする会』の発足になりました。設立総会は平成22年2月でした。

幸い鳴門市にはEMボランティアグループが多くあり、各グループにおいては活動している河川の悪臭が消え、水の色も良くなっているとの実感が起こっているときでした。これを新池川にもと思い、EM活動をしている団体に声をかけたのが始まりです。設立総会の時に、年3回EMダンゴを新池川に入れ、一回に10,000個以上と決めました。

作業場所及び土、ダンゴ、機材の保管場所は鳴門市の協力にて「し尿処理場」を借りられました。各団体で今行っていることを集まってするだけです。作業としては何も問題はありませんでした。でも数量が桁違いです。ダンゴを作り、新池川に入れると口では簡単ですが、土は二種類必要で、砂、山土などの粗い土、粘土のような細い土の確保及び乾燥、また、土の篩い作業器、混合機、ダンゴを並べるトレー等が必要でした。各団体の持っているものを出していただき、作れる物は作り、なんとか資材をそろえることが出来ました。

新池川の警察前の池に「植栽いかだ」を浮かべることも出来ました。県が設置して、新池川をきれいにする会と鳴門市第一中学校ボランティア部が管理し、鳴門市が補佐をする官民協働の「植栽いかだの会」が平成23年3月に発足しました。今までにカキツバタ、空心菜、クレソンなどいろいろな物を植えてきました。又、池の側の堤防には芝桜も植えていますが、今では1700株以上植わっています。3月中旬から一ヶ月ぐらいが見ごろと思います。

平成23年12月、「かわ普請事業」を県、市と結びました。これにより撫養橋から石越橋の間の右岸、左岸の環境をも考えて新池川をきれいにする会は行動をすることになりました。

平成24年2月5日、しだれ桜105本を、北岸に植えた人の名前を書いて植えることが出来ました。残念ながら約40本が枯れてしまいましたが、12月24日に90本を再植樹いたしました。今では北岸に157本のしだれ桜が植わっています。

新池川周辺を散策される方は依然と比べられないくらい多くなり、「きれいになった」と多くの方からお褒めの言葉が聴かれるようになりました。水の色も以前とは違うし、鴨の姿は昨年より多く見かけるようになりました。

この会は、地域住民の中から起こったボランティアグループです。まだまだ人手が必要です。鳴門市の毎月の広報紙に新池川の活動予定が掲載されています。新池川をきれいにする会がいつまでも続いていけますよう、皆様のお力をお借りしたいと思います。多くの方のご参加をお願いいたします。



忘れていませんか！！

- 資産の変更登記（毎年）
- 役員（代表者）の変更登記（2年に1度）
- （定款に「理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する」との規定があって、現在も理事全員が登記されたままであるNPO法人は「代表権を有する理事以外の理事の代表権喪失」の登記が必要です）

※登記を怠ると過料が課される場合があります。

鳴門市市民活動支援センター

鳴門市撫養町南浜字東浜30-9
老人福祉センター1階

開館日 月～金曜日 13:00～18:00

休館日 土・日・祝祭日・年末年始

☎ 088-685-7170

（鳴門市社会福祉協議会内）

FAX 088-686-4059

E-mail : naruto.npo.shien@gmail.com